

第 572 回 放送番組審議会

1. 日 時 2021年 3月 16日 (火) 午後 1時 30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 8名

委員長	佐藤 健志
副委員長	加藤 千晶
委員	前田 千香子
委員	石田 亨
委員	柿木 康孝
委員	越沼 洋一
委員	林 英彰
委員	蛸崎 奈津子

欠席委員 1名

委員	緑川 智恵子
----	--------

社側出席者

榎野 信治	(代表取締役社長)
池田 学	(取締役 関連会社担当)
藤原 哲也	(報道制作局 報道部長)
成田 大輔	(報道制作局 報道部)

事務局

畑山 篤	(常務取締役 編成・報道制作担当)
------	-------------------

4. 議 題

1. 3/11 (木) 15:50～16:50 放送

TVI 報道特別番組「つなぐ未来へ～東日本大震災から 10 年～」

2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

・視聴者からのご意見

6. 意 見

委 員 側 意 見

- 過去を振り返るというよりも『これから被災地を元気にしていこう』、『頑張っていこう』という地元の若者や、健やかに育っている子供たちの姿を見せようということをかなり意識して作ったのだと思った。
- 終わりのVTRでの歌手名や曲名など表示してほしいと思ったが、何か制約があるのか？差し支えなければ教えて欲しいと思った。
- 最初の場面で中学校の被災の様子を紹介していたが、カメラワークがちょっと早く感じたので、少しゆっくりにすると落ち着いて見られるのではないかと思った。
- 震災の年に生まれた子供の当時の様子と、そこから今の様子を紹介していたのは非常に微笑ましく、家族で幸せな様子というのが見ている人にも温かく思えたのではないかなと思った。
- 何か検証できるものがあれば検証し、今後どのような新たな展開をできるのかどうか、行政の問題と思うが、その様な検証などがあれば今後また取り上げていただきたいと思った。
- 作文の内容を字幕で表した際、わかりやすくするために整理したのだと思うが、今回は言葉を略さずに正確に表示した方がいいのではないかと感じた。
- 震災直後に産婦人科で生まれた赤ちゃんをなぜ取材できたのか？というのは非常に興味があるので、経緯が分かるのであれば聞きたいと思った。

局 側 意 見

- エンディングVTRの曲名の表示について。このVTRは10年間の膨大な量の映像の中から編集の担当者がセレクトしたものをつなぎ合わせたもの。あえてナレーションもテロップも入れないということで作ったが、最低限その楽曲のタイトルやアーティスト名は表示すべきであったと感じている。
- 当該産婦人科はテレビ岩手から近い場所にあり、社員の中にも子供を取り上げていただき、お世話になった者も多かった。震災発生直後に、病院関係、特に産婦人科などどう

なっているのか？大丈夫なのか？ということで連絡を取った。今まさに生まれる子供がいる、生まれた子供がいるという一報をもらい、カメラを持って駆けつけたという経緯。そこからずっと事ある度に連絡は取っている。

- 私たちはどうしても少ない文字数で見せようとしているため、文字数もチェックをし、作文から「そして」という言葉が省かれているという認識はあった。常日頃の作業の中で言葉を少しでも短く分かりやすく伝えようとしている流れが今回出てしまった。確かに、作文に関しては「そして」も含めて全文しっかりと文字を出した方が見ている方に筆者の思いが伝わっただろうと思っている。
- 蔦京平キャスターと、古舘友華キャスターが10年を被災地から伝えるということで、テレビ岩手の震災報道に対する姿勢、これからも震災に対して全力で向き合って報道していくという姿勢を伝えたいと思い、今回はスタジオではなく気仙中学校から中継をしようと思った。

7. 審議機関の答申または意見の概要公表の方法及び年月日

- ①自社放送 3月23日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載(別添)
- ④自社HPでの掲載 <https://www.tvi.jp/tviweb/deliberation>